

ESD21主催 TPS/Lean 研究会「TPS 連続講座」開設について

2016年6月1日 黒岩 恵

持続可能なモノづくり・人づくり支援協会(略称 ESD21)会長

日頃は大変お世話になり、ESD21の活動にご指導、ご支援頂き有難うございます。

ESD21主催「TPS 連続講座」は、ESD21 会員で TPS の企業コンサルタント、経営指導と TPS に造詣の深いトヨタ OB、TPS 関係の学識経験者を招聘して、各講師から、TPS による生産性向上、組織の活性化など自由なテーマで講演頂き、参加者との意見交換により、TPS の本質、人材育成、企業競争力向上などの研究の場として開講します。

本講座の趣旨をご理解頂き、ご指導、ご支援頂きたくお願い申し上げます。

TPSは、世界中で Lean(贅肉のない)方式として知られ、業種業態を超えた分野に適用されている「競争優位のビジネスモデル」です。TPSが確立されて約40年、その間グローバル化やICT(情報通信技術)の技術革新などで、TPS展開の方法論は変化していますが、TPSの原理原則は不変です。80年代トヨタのUS進出とともに、TPSは日本の製造業の強さの源泉として研究され、その後、①国内外の研究者/実務家の研究と実践 ②ツールとしてのITの技術革新、により進化。ESD21では、進化・深化した現在のTPSを、TPS/Lean方式、ソフト開発プロセスではTPS/Agile方式と呼んでおります。

「TPS 連続講座」の講演テーマは、出講頂く講師の自由です。目的は、製造業を超えて、全ての経済主体の改善/改革による生産性向上と、TPSの思想・哲学、方法論の普及展開です。

研究会では、TPSの基本、技術・方法論、適用分野、改善事例、海外展開など、講師の得意分野で自由に語って頂ければ結構です。各講師の講演後、発表テーマを題材に意見交換を行います。IoT、ビッグデータ、AIなど新しいICT時代になって、ドイツのIndustry4.0、USのIICなどで、日本のモノづくり改革が問われています。IT新時代において「TPSとIT」、「改善と改革」がESD21の主張です。「TPS 連続講座」の参加は、自社の人材育成、競争力向上への絶好の機会です。万障お繰り合わせの上ご参加賜りたく、ご案内申し上げます。

~~~~~ 記 ~~~~~

- (1) 目的: 持続可能な日本のモノづくり、TPS/Lean/Agile方式の研究と普及展開
 - (2) 開催頻度: 年3~4回(90名程度)
 - (3) 費用: 会員およびESD21入会予定者、ビジターは企業トップ、招待者は無料。
 - (4) 参加対象者: 製造業、サービス業のマネジメント層、中小製造業トップ
 - (5) 招聘講師候補: 下記は出講依頼予定講師です(順次、追加予定)
 - トヨタOB: ・内川・好川・中山・佐々木・林・佐藤・河瀬・鈴木
 - ESD21会員: ・竹内・川口・太田・奥山・藤井・武内・野村・鈴木
 - 大学教授: ・門田・田中・小谷・池田・清水・河田・伊藤・澤田
- (以上)